

教育委員会だより

第71号 令和3年(2021年)1月15日
 編集発行 山北町教育委員会学校教育課
 〒258-0195 山北町山北 1301-4
 TEL 0465-75-3648

♡🌸🌱🐦♡🌸🌱 チーム「山北」で育む 山北の子どもたち ♡🌸🌱🐦♡🌸🌱

山北町の強みは、「チーム山北」となって園・小・中がスクラムを組んで、子どもたちの成長をトータルで見取り支えていくことができる教育環境規模です。昨年度末に、4年間継続して取り組んできた「かながわ学びづくり研究」成果を生かし、園・小・中が共有して山北の子どもたちに育んでいく力を「山北スタンダードカリキュラム」としてまとめました。



山北の子どもたちに「社会的表現力」(*)と「運動に親しむ資質」を育む 山北スタンダードカリキュラム

(※)「社会的表現力」とは、相手との信頼関係を築く「コミュニケーション能力」のこと

- ・「書く」「話す」手段で、相手に正確・効果的に「伝える能力」
- ・相手の伝えたいことや意図を理解する「受け取る能力」
- ・周りの雰囲気を感じて物事を見たりその意味を推し量ったりする「非言語コミュニケーション能力」

中学校教育

◎社会的表現力の育成



社会の中で、
他者とよりよく
関わりながら
自分らしく生きる
山北の子ども

小学校教育

◎対話力の育成



幼児教育

◎人と積極的に
関わる力の育成



- 非認知能力に着目した研究推進
- 主体的に遊びを発展させていくことができる環境づくりの取組推進

【受け取る力】

- ・話し手の目を見る
- ・反応する
- ・最後まで聞く

【伝える力】

- ・あいさつや返事をする
- ・遊びの中で、知っている言葉を使って自分の気持ちを伝える
- ・困ったことを伝える
⇒SOS発信ができる

【運動】

- ・体を動かして遊ぶ
- ・外に出ること、外で遊ぶことを楽しんでいる
- ・集団遊びを楽しんでいる

- 非認知能力育成の継続
- 主体的な学びにつなげる指導と支援

【受け取る力】

- ・相手の話を共感的に最後まで聞く
- ・自分の考えと比べながら聞く
- ・相手の考えや意図を理解しようとして聞く

【伝える力】

- ・自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら発言する
- ・相手に伝わりやすいように話す
- ・友達と考えとつなげて話す

【運動】

- ・多様な運動に進んで取り組む
- ・目標をもって継続して運動する
- ・苦しいことにも挑戦し続ける
- ・みんなで楽しもうとする雰囲気を作る

- 育まれてきた非認知能力を、社会で生かす判断力の育成
- 生きるために何が必要で、何を学ぶべきか、自ら考えられる力の育成

【受け取る力】

- ・相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする

【伝える力】

- ・根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるよう論理の展開を考えて説明する
- ・場の状況に応じてことばや表現を工夫し、分かりやすく伝える
- ・合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う

【運動】

- ・生涯学習の視点にたち、運動やスポーツに親しむ
- ・継続的な運動やスポーツを通して、心身の健康を維持する
- ・運動やスポーツでの交流を通し、地域社会の一員として貢献する

人権感覚・人権意識の涵養

山北スタンダードカリキュラムは、園・小・中の概ね12か年をとおして子どもたちの「学びに向かう力や姿勢」の基盤となる「非認知能力」(目標や意欲・興味・関心をもち、粘り強く、仲間と協調して取り組む力や姿勢等)の育成を柱に、①社会的表現力 ②運動に親しむ資質に視点を当てて作成しました。

①では「伝える力」「受け取る力」に着目し、そのいくつかを具体的な子どもの姿で例示しています。各園・学校では、これらの姿を意識して、それぞれの特色を生かした研究や日常生活・教育活動を行っています。

②については、山北町では児童・生徒への波及をめざして7年間にわたり継続して幼児期における運動遊びの効果について研究をしています。スポーツ庁では、2016年度調査以降、6～11歳について「入学前の外遊び」の実施状況と、小5でのスポーツ実施状況の関係を調べていますが、その結果から「幼児期に外で体を動かして遊ぶ習慣を身に付けることが、小学校入学後の運動習慣の基礎を培い、体力の向上につながる要因の一つになっていること」と指摘しています。また、同庁は「男女ともに、運動・スポーツの実施頻度が高いほど、『なんでも最後までやり遂げたいと思う』と回答する者の割合が多い」と分析しています。これらの知見が本町の子どもたちの実態と重なってきていることを励みにし、今後もチーム「山北」で取り組んでいきたいと思ひます。



山北中2年生 道徳の授業



知念先生と運動遊び

子どもたちの「おいしい!!」をとおして

食育の推進と安全・安心を支える山北町教育研究会栄養士部会



山北町教育研究会は、1974年に「山北町の教育の振興に寄与するとともに、会員相互の資質の向上と各幼稚園・保育園・こども園及び小中学校の連絡提携をすること」を目的に設立されました。今年度は84名（保幼小26名、小34名、中24名）の会員が、6つの部会に所属して活動しています。

今号では、1月24日から始まる「全国学校給食週間」にちなみ、山北町教育委員会食育推進事業と連携し、日々安全・安心なおいしい給食作りをとおして食育の推進と、子どもたちの園・学校生活に潤いや楽しさを提供している栄養士部会の取組を紹介します。



栄養士部会は、こども園（4園に給食を提供）・川村小（三保小に給食を提供）・山北中に所属する、栄養教諭を含む3名の栄養士で構成されています。部会テーマを「山北町統一メニューの作成」とし、給食に提供する地場産を取り入れた山北町統一メニューを開発・作成して実施、その報告と食に関する様々な情報交換を、年4回開催する部会の中で活発に行っています。

第3回部会(11/10)では、10/13に提供した「山北鉄道の日」献立実践報告がありました。

【4園】絹華豆腐の真砂揚げ
でごにい焼きのり やまきた汁
湘南みかんドレッシングサラダ
りんごゼリー (15時:足柄茶ドーナツ)

【小学校】足柄茶飯 牛乳
でごにい焼きのり やまきた汁
(キムチ味) 絹華豆腐のグラタン
湘南ゴールドサラダ

【中学校】ご飯 やまきた汁
生揚げ(絹華豆腐)のネギみそチ
ーズ焼き でごにい焼きのり
足柄茶プリン~黒糖ソース~ 牛乳

この3つの献立の中で、「山北」をテーマに何が共通しているかわかりますか？

共通献立の一つに「やまきた汁」があります。味付けや調理方法はそれぞれ違いがありますが、地場産の食材使用とたっぷり入った作り手の「愛情」は同じです。

毎月の献立作りでは、予算や単価に悩みながらも子どもの健やかな成長を食の面から支える献立を考える楽しさにわくわくしながら、季節感と山北産の食材を取り入れたバランスの取れたおいしい給食の提供に努めています。その原動力は、子どもたちの「おいしい」「また食べたい」「ありがとうございました」という声と笑顔です。部会での情報交換を生かしながら、創意工夫した給食を子どもたちに届けるために今日も給食調理員の皆さんと力を合わせて作っています。

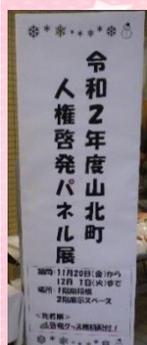
また、この日は養護教諭部会と合同で、国のガイドライン改訂に伴い、子どもたちの命を守るセーフティーネットとなる「山北町アレルギー対応に関するフローチャート」の見直しについても話し合われました。



令和2年度人権啓発パネル展を開催しました

例年、人権週間にちなんで人権講演会を開催していましたが、今年は新型コロナウイルス対策に伴い、11月20日から12月1日までの間「人権啓発パネル展」を開催しました。

期間中、各関係機関から集めた貴重なパネル120点余を展示し、計435名の来場をいただき、改めて人権の大切さを考える機会を提供することができました。



【協力機関】 日本赤十字社・(公財)人権擁護協力会・(公財)人権教育啓発推進センター
神奈川県福祉子ども未来局人権男女共同参画課・神奈川県西地域県政総合センター
山北町人権擁護委員

教育委員会の審議事項

令和2年(第11~第12回・協議会)

- 第11回(11月20日)
 - ・教育長報告
 - ・山北町育英奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について
- 協議会(11月20日)
 - ・令和3年山北町成人式について



- 第12回(12月21日)
 - ・教育長報告
 - ・山北町史資料取扱要綱の制定について
- 協議会(12月21日)
 - ・県立山北高等学校の地域魅力化型研究指定校について
 - ・いじめの対応について